



## 希望の里松涛園【9/21の理事会で説明】 来春3月末で完全閉鎖を公表

「松涛園は当法人が最初に開設した施設で、これまで地域の協力を得ながら、地域に根差した活動を続けてきました。このような結果を公表せざるを得ないことは誠に残念ですが、法人の経営存続を図るためやむを得ないことと7月の理事会で判断しました。地域の皆様にはご理解を賜ればありがたいと思っております。」

21日の理事会に出席した松涛会事務局長の月岡氏と、松涛園事務長の星名氏は、閉鎖決定にまつた詳細説明のあとこのように話しました。

この日の説明会と同時進行で進めてきた施設利用者や職員への説明と、近隣施設への受け入れのお願いはすでに終わっており、年度末までに利用者の転所と職員の転職が完全に終わるよう最大の対応をしていくと説明しました。閉鎖を決定するに至った理由として、

一、松涛園の収支が長期に渡り悪化し続けており、改善策として昨年末に通所部分の縮小を行ったが効果を結ぶことができず、今年度収支もさらに深刻化している。

二、施設運営の要となる看護・介護職員の人材不足が長年に渡り続いており、今後配置基準を満たせない事態を招くことが危惧される。

三、開設から来年で25年を迎え、現在不具合を抱えている設備が数多くある。いずれも利用者の生命維持に欠かせない設備であるが、これらを更新する経費を松涛園で捻出することは難しく、法人としても先行きの見えない事業に対し、多額の資金を投入することは難しい状況となっている。

の3点をあげ、松涛園のすべての事業（入所・短期入所・通所）を令和6年3月末をもって閉鎖するとしています。

説明の後に行われた主な質疑応答は次のとおりです。

問：入所100床のところ70床での運営は大きな減収だが、これも職員不足が要因なのか。

答：職員不足が続く中で特に夜勤職員がいない。ここを優先すると日中の職員が足らなくなってくる。この状態では受け入れを減らさざる

を得ない。またコロナ禍の影響も少なくない。

問：閉鎖の公表はもう少し早くできなかったか。

答：利用者へのサービスを保ちながら閉鎖まで継続することが使命であり、できるだけ混乱を避けるべきという判断から、ぎりぎりまで話は出せなかったし、公表は利用者、職員、地域を同時にするのが最善策と考えた。

問：閉鎖後の施設はどうするのか。

答：理事会でも検討はしているが、現状では見通しがつくような案には至っていない。

問：利用者と職員への今後の対応だが、3月までにめどがつかぬのか。

答：来年度の介護報酬の改定で制度の変更も考えられることから、できればそれを避けたいという思いもあり、3月末閉鎖を判断した。したがってこれまでにきちんと対応すべく進めていく。なお閉鎖後も残務整理が続くため、若干の職員は残る。また遠距離ではあるが、系列の上越市の施設への入所・勤務異動も可能であり、そうしていただければ法人としてもありがたいことである。

法人からの地域への周知は、回覧等で早急に実施することを確認して説明会を終了しました。

■「希望の里松涛園は湯之島集落の旧浦田中学校跡地に建設され、運営母体の社会福祉法人松涛会（大熊理事長）が手がけた第1号施設として、平成11年10月に開設しました。平成4年に開設した特別養護老人ホーム不老閣とともに、地域の老人福祉施設の2本柱として、四半世紀に渡りその重責を担ってきました。（来年で25年）

現在同法人が運営する施設は、松涛園のほか上越に3施設、千葉県に2施設の計6施設あります。

## 集落安心づくりの事業制 度の拡充について

集落安心づくり事業は、高齢者世帯などの雪処理作業や見守り活動を、集落ぐるみで支援する活動組織に対し補助金を出す制度で、今年度松之山地域では27組織が取り組んでいます。

一方高齢化と人口減で組織だけでは作業支援が困難になり、業者委託など外部支援による費用負担が増加している組織も出てきています。

このような現状から市では昨年、高齢者集落の課題等を把握するため、延べ78集落でヒヤリング調査を行い、制度の拡充を検討してきました。

高齢化率や高齢者世帯数など、一定の要件を満たしている取り組み組織への加算支援を今年度から実施すると、9月29日に開催した十日町市自治組織連絡協議会で説明しました。各組織の要件によりませんが、最大20万円の追加支援が受けられるようになります。

今後詳細が届き次第、加算支援に該当する組織には事務局から照会をかけますが、その場合でも、今年度はすでに提出積みの事業計画内容のまま進める場合は変更の必要はないことを申し添えます。

## 中学校のあり方検討委員会中間報告

令和4年11月に設置された十日町市立中学校のあり方検討委員会は9月25日の会議で12回を数え、これまで様々な方面から検討を重ねてきました。今月開催される13回目からはいよいよ委員会としての提言内容の検討に入り、計画では年明け2月にとりまとめを終え、教育委員会に提言することになっていきます。

9月29日の十日町市自治組織連絡協議会で8回から12回までの中間報告があり、新しい取り組みを始めている学校視察を実施しながら、学校と地域のあり方、学力向上や部活動の取り組み、不登校やいじめ対策などの様々な課題について検討してきたことを、詳しい資料を示して説明しました。

人口減少が深刻化している中、昨年度生まれた子供が中学生になる、令和17年の市内中学校の全生徒数が620人になると推計されています。平成17年合併時は1901人、今年度は1200人で、今後の減少率は加速度的に進む推計になっています。地域教育と学校教育の双方が欠けることのない、十日町らしい教育提言を期待したいと思います。

## 上沼道安塚〜松代間の 整備検討アンケートに ご協力ください

上越魚沼地域振興快速道路(上沼道)は、上越・十日町地域及び南魚沼地域を相互に連結し、地位間の連携を強化する道路として計画され、現在両サイドから工事が進められており、一部区間の共用も始まっています。

県では残区間のうち安塚〜松代間の約13km区間を、新たな区間として整備方針の検討を進めることになりました。このことを広くお知らせするため沿線各地域で住民説明会を開催し、松之山は9月5日に休養村センターで行われました。

この場で県から、区間検討のための沿線住民を対象としたアンケート調査の協力依頼が出されたことを受け、9月の市報発行に合わせ解答用紙を全戸配布しました。

上沼道が単なるバイパス道路ではなく、地域住民の生活道路として重要な路線であることを示す重要な資料となるものです。20年も先のことを思わず、たった20年で完成すれば素晴らしいことです。皆様のご理解ご協力をよろしくお願いします。

### ※アンケートの郵便ポスト

投函締め切りは  
10月31日です。

## 十日町高校松之山分校 来秋に閉校式典を計画

令和2年7月に県教育委員会から5年度の募集停止が示されて以来、これまで松高支援連絡会を中心に自治振興会はじめ地域を挙げて存続活動を続けてきました。残念ながら松高の学びを引き継ぐという形で、松代高校への発展的統合が決定し、昭和23年に安塚高校の分校として定時制で開校以来、77年という長い歴史に終止符を打つことになりました。

松之山分校同窓会(小野塚良雄会長)では、地域教育の最高学府として多大な貢献を果たしてきた母校の閉校に際し、感謝を込めた記念式典を行うべく準備を始めました。

今後分校と同窓会を中心とした実行委員会を組織し、全国に散らばっている、できるだけ多くの卒業生にお知らせするとともに、思い出に残る式典となるよう協力をお願いしていくとしています。

なお開催時期については、来年秋を予定し、現2年生が最後の卒業生として同窓生と共に母校を送ることになります。

地域の皆様におかれましては、今後の実行委員会の活動にご理解いただきますようお願いいたします。



## — 令和5年度事業計画と当初予算概要 —

### □歳入の部

#### 【十日町市交付金】 予算額 6,130千円

- ① 集落安心づくり事業交付金：26組織×100千円 2,600,000円  
★ただし田麦立安心づくりの会が新規参入し27組織になります。増加分は補正対応されます。
- ② 自治協働事業交付金：①を除く事業に配分できるお金 3,530,000円

#### 【自主財源】 予算額 3,188千円

- ① 会費 340千円 (500円×680世帯) ② 繰越金 614千円 ③ 雑収入 101千円 (東京松之山会景観資金等)
- ④ 応援寄付金会計からの繰入金 2,133千円

#### 【緑化事業補助金等】 予算額 2,260千円

- ① ゴルファー緑化促進事業 300千円 ② 緑の募金森づくり事業 110千円
- ② 国土緑化推進機構事業 1,000千円 + 前年度繰越し分 800千円 ③ 事業主体負担金 50千円

**□歳入予算総額 11,578千円** (前年度歳入予算総額 10,611千円)

### □歳出の部

#### 【総務・事業部会】

##### □総務防災環境対策費 予算額 2,010千円 (前年度初予算額 1,716千円)

- ① まちづくり活動事業補助金 1,390千円 (10団体の総額)
- ② 広報事業費 310千円：「はいこんちよ」の発行5回分の経費
- ③ 防犯活動・交通安全推進事業費 50千円：交通安全啓発活動費
- ④ 自主防災組織強化事業費 40千円：AEDの消耗品更新経費補助
- ⑤ 教育関連事業への助成事業費 220千円：保育園保護者会活動、松高生の地元企業訪問説明会、まつのやま学園への防災ずきんの継続配布、スポーツ優秀競技者への表彰等の合計額

##### □福祉文化対策費 予算額 3,267千円 (前年度予算額 3,220千円)

- ① 集落安心づくり事業費 2,600千円：26組織×100千円 ただし、新規参入の田麦立安心づくりの会分は補正対応します。
- ② 敬老会助成事業費 587千円：老人クラブや集落が主催し全集落で実施します。75歳以上が対象となり、一人1千円の助成を行います。(587人分を計上)
- ③ 郷土文化伝承事業費 50千円：湯米心で取り組んでいる野鳥こけしづくりの後継者育成対策に支援します。
- ④ 名老百選事業費 30千円：新名老の認定経費、名老の集いへの助成を行います。

##### □産業観光交流対策費 予算額 3,488千円 (前年度予算額 3,435千円)

- ① 地域内イベント助成事業費 460千円：長縄跳び大会、湯鳥駅伝大会、産業祭、スキーカーニバルに協賛・支援します。
- ② 交流事業費 380千円：東京松之山会、埼玉県加須市との交流活動費
- ③ 獣害対策費 50千円：獣害対策への支援経費
- ④ 緑の環境整備事業費 2,598千円：大棟山の森整備事業 600千円、湯の森公園育林事業 150千円、子どもたちの未来の森づくり事業 (キョロロの森) 1,738千円 (内繰越分 638千円)、美人林保護活動関連経費 110千円

##### 【移住定住教育環境促進部会】 予算額 520千円 (前年度予算額 150千円)

- ① 情報活用事業費 420千円：移住定住サイトの運用経費、情報の管理運用経費、空き家物件調査経費等
- ② まつのやま学園支援活動費 100千円：まつのやま学園の入学者増に係るPR活動費

##### 【まつのやま青年女性まちづくり部会】 予算額 255千円 (前年度予算額 150千円)

- ① 活性化事業費 255千円：地域の史跡等をまもり隊活動費、住民交流調査研究費、子ども会議・みんなの食堂

##### 【事務局費・予備費】 予算額 2,038千円 (前年度予算額 1,940千円)

役員42名分の報酬・費用弁償・旅費・事務局員の賃金、支所に払う年間の印刷費、郵便料金、賛助会費、広告掲載費など、事業を実施するための諸費用全般。

**□歳出予算総額 11,578千円** (前年度歳出予算総額 10,611千円)

# JA 十日町松之山支店店舗機能見直し要望に係る最終報告

自治振興会では松之山支店の総合プラザ化の話が公表された2月以降、計画の再考に向け様々な活動を行い、皆様のご協力により4月18日に署名請願書を提出しました。当会としては76%を超える方からの切望に対しての文書回答を再三お願いしていたところ、7月24日に正副会長と事務局長3名で、松之山支店会議室にて口頭による説明を受けました。

ここでの説明は計画を覆すことはできないとする、当初計画のまま進めることへ理解を求める内容でしたが、結果のいかんにかかわらず文書回答を求めたところ、7月25日付けで次の回答書を受けました。

以下にその原文を掲載し報告します。

拝啓 猛暑の候、平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、松之山支店機能見直しに関する貴自治振興会からの「店舗機能変更計画の再考を求める請願書」につきましては真摯に受けとめさせていただき、経営管理委員会に報告をした所でございます。

支店機能見直しは、春より地区運営委員会、地区総代会および地区別組合員懇談会を行い、全域で支店機能の見直しについての説明会を重ね、6月10日の第25会通常総代会において審議承認されました。

今後、松之山支店のプラザ店への移行につきましては、組合員をはじめ地域住民のご意見ご要望等拝聴させていただきながら進めてまいりますので、何卒、ご理解のほどよろしくお願いたします。

敬具

## 市営バスのダイヤモンド運行検討が始まりました。

9月6日の第3回理事会で、市営バスのダイヤモンド型運行への移行検討を始めること、支所担当から説明がありました。ダイヤモンド型ではあらかじめ乗車予約が必要になります。

現在の市営バスは、通学時間帯を除く日中は空で運行する便も多く、経費の面からもより効率的な制度に見直そうというものです。

説明段階の考え方としては、ダイヤモンドバスの運行方法は、今のバス停を活用した運行計画をたて、申し込みがあつた場合はその便の時刻表通り運行するが、全くない場合は運休します。また乗車申し込みは、前日夕方までとします。新制度への移行は来年春以降を予定していますが、計画がより具体化してきたら改めて説明すると話しました。

自治振興会では、利用者を第一に考え、混乱のないように丁寧な説明をしながら進めるよう提言しました。

この回答書に対し、自治振興会では次の事項を記した文書を提出しました。

一、今後のプラザ化移行への対応は、丁寧かつ慎重な説明をもって行うこと。

二、近い将来さらなる組織体制の見直しを検討するのではないかと危惧している。農協を頼りとし、ともに頑張っていこうとしている地域の思いに十分目を向けることに改めて強く期待すること。

## 松之山まちづくり応援寄付金をいただきました。【6/6~8/17 期間】



おところ	お名前	おところ	お名前	おところ	お名前
三鷹市	福原弘様	目黒区	津端健一様	綾瀬市	志賀末吉様
文京区	宮崎悦子様	茅ヶ崎市	岡村令子様	倉敷市	佐伯マス様
座間市	高橋秀夫様	新潟市	阿部みき子様	新潟市	田中秀次様
足立区	室橋昭男様	蓮田市	和久井伸一様	その他	匿名3名様

### ◇編集後記◇

先日早朝田んぼに行く途中、車の前にクルミをくわえたりスが横断しました。私がカーブから突然現れたのと路面が濡れていた為、滑って落ちてしまいました。慌てて体勢を整え照れくさそうに去って行く姿に、里山の秋を感じた一コマでした。  
K.Nakajima

寄付金額の計 252,000 円

■寄付金の申込用紙は下記事務局よりお届けします。ご連絡をお待しております。



松之山自治振興会 事務局

<https://www.facebook.com/hai.koncho>

☎942-1406 新潟県十日町市松之山 1597-2 (松之山支所 地域振興課内)

☎:025-596-3131 fax:025-596-3515 E-mail: [m\\_jichishinkoukai@yahoo.co.jp](mailto:m_jichishinkoukai@yahoo.co.jp)

【松之山の人口9月末】 総人口1,650人(男792人 女858人) 世帯数:772世帯 (総人口 前月比:-1人)